

2026年度 地域共生学科食物栄養コース カリキュラム・フローチャート

地域共生学科食物栄養コースのディプロマポリシー

社会人として人間性と品格を備え、分析的に考える力を身につけている。

栄養士に必要な基礎的・専門的な知識や技能を身につけている。

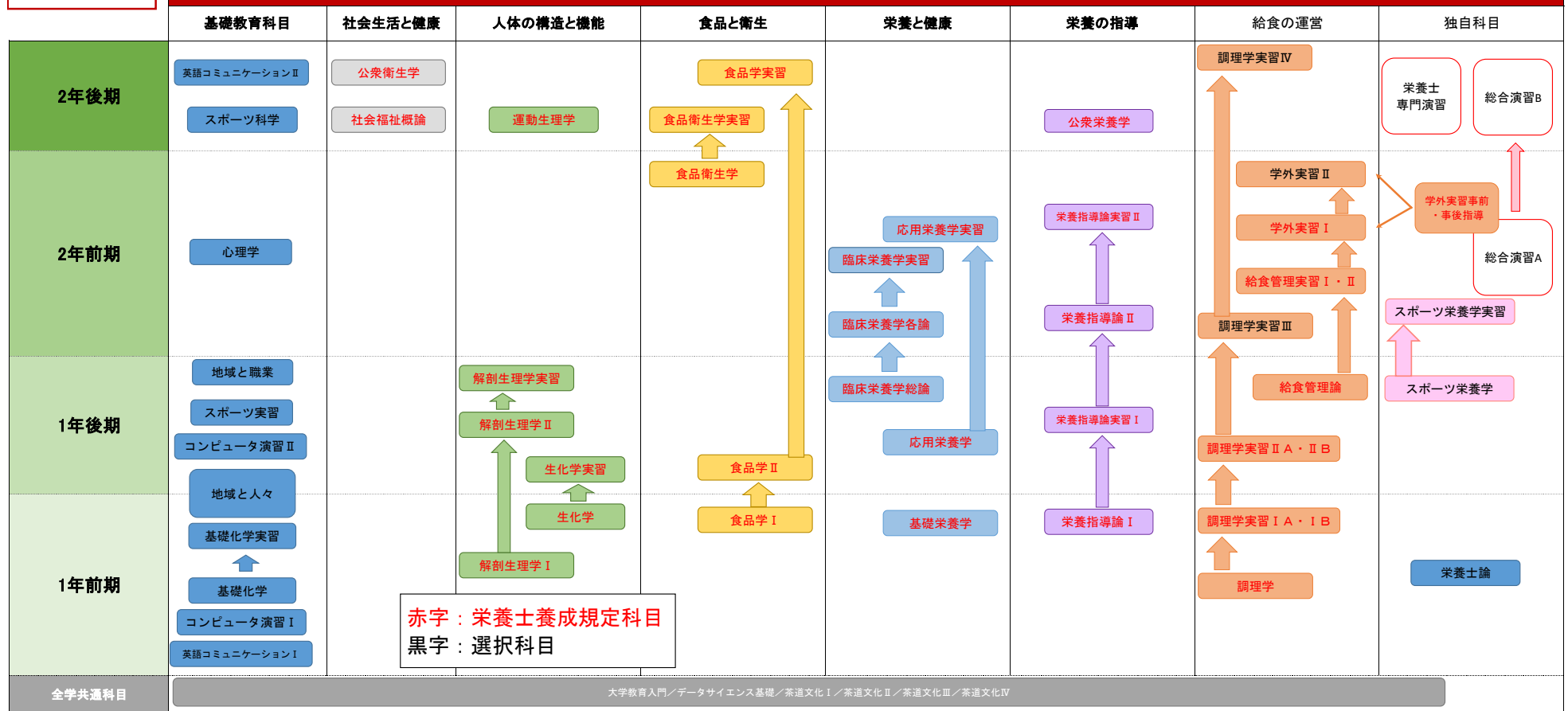
栄養士の業務に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけている。

現代の食に関わる様々な課題を発見・理解・分析し、解決に取り組むことができる。

学修経験をもとに、目標とする栄養士像に近づくために自身を向上させることができる。

カリキュラムポリシー (教育課程編成の方針)

- 1 社会人としての教養(基礎知識)を高めるために、全学必修の「茶道文化Ⅰ」「データサイエンス基礎」を配置する。
- 2 他者を理解し、尊重することができる社会性を養うために学科の専門科目内でのグループワーク授業を配置する
- 3 栄養士に必要な専門知識を習得するために栄養士養成規定科目を配置する
- 4 栄養士の業務に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を高めるために「給食の運営」、「栄養の指導」に関する科目を配置する
- 5 食と健康、食とスポーツ、食とライフステージに関する課題解決能力を高めるために「栄養の指導」、「スポーツ栄養」、「栄養と健康」に関する科目を配置する
- 6 学修体験を統合するために、「総合演習」を配置する



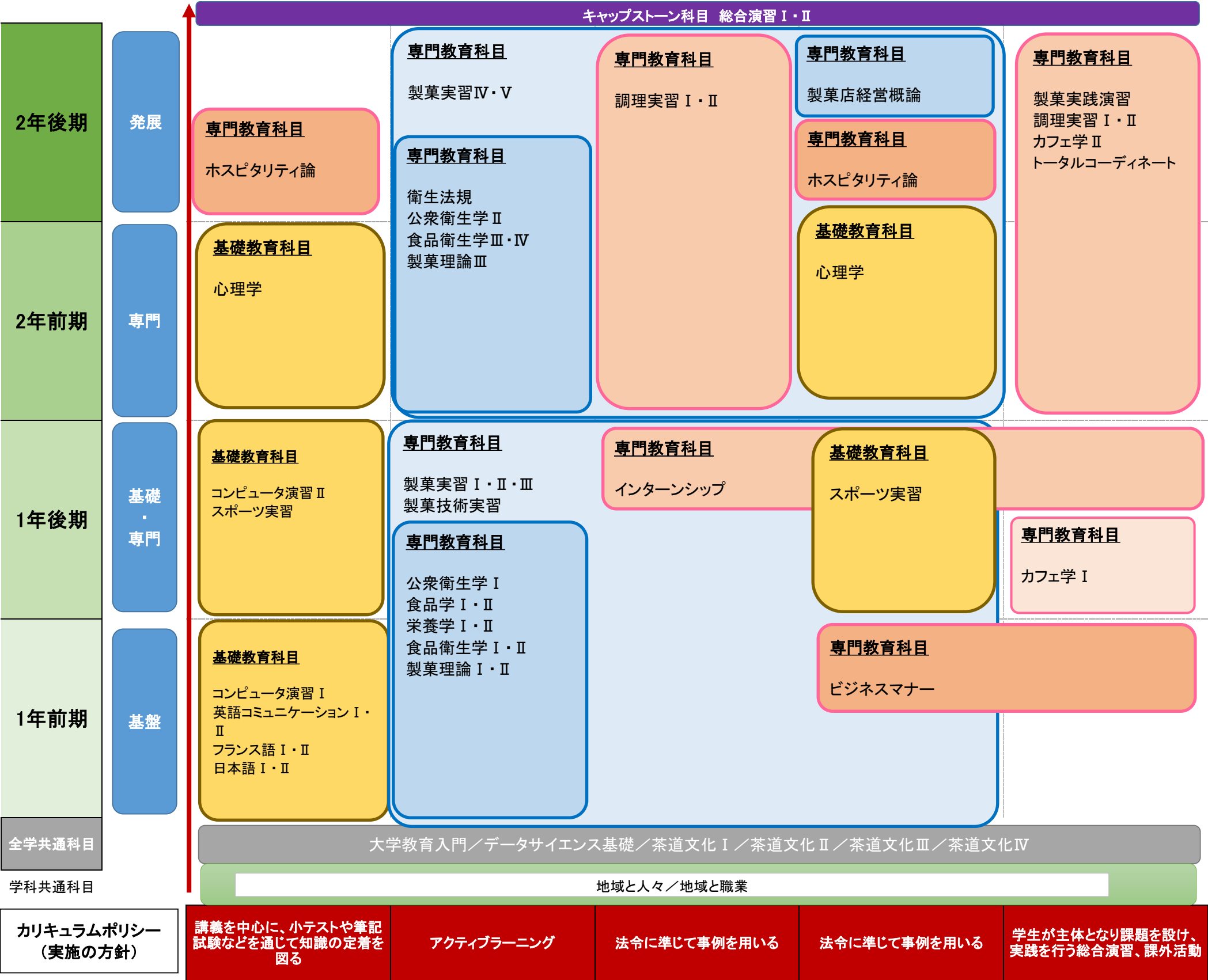
2026年度 地域共生学科製菓コース カリキュラム・フローチャート

地域共生学科製菓コースのディプロマポリシー

現代社会を生き抜く力 社会人として人間性と品格を備え、 分析的に考える力を身につけてい	豊かな専門的知識や技能 製菓の専門的知識や技能を確実に修 得し、体系的な理解ができる。	コミュニケーション能力 製菓製造の様々な場面や地域社会の 交流の中で求められるコミュニケー ション能力を発揮し、自らの役割を	課題解決能力 修得した知識や技能をもとに思考や 判断を行い、現実の課題を解決するこ	主体的に学ぶ力 学習体験をもとに、自己のキャリア を主体的にデザインすることがで
---	---	---	---	--

カリキュラムポリシー
(教育課程編成の方
針)

1. 基礎的な学力を身につけ、社会の出来事に興味を持ち積極的に学び続けるために「茶道文化」、「データサイエンス基礎」、「地域と人々」などを配置する
2. 製菓製造に関わる専門的知識を身につけ、安定した菓子製造に使える包括的な理解ができるために「食品衛生学」、「製菓理論」をはじめとする製菓衛生師専門科目を配置する
3. 製菓製造の場面での自分の役割を理解し、協働作業を行う力を獲得するために「製菓実習」、「調理実習」などを配置する
4. 専門的知識・技能を応用し、課題解決のためのアイデアを構想し、そのアイデアを実行するために「製菓店経営概論」、「総合演習」などを配置する
5. 学修体験をもとに、自己のキャリアを主体的にデザインすることができるように「カフェ学」、「総合演習」、「ビジネスマナー」などを配置する



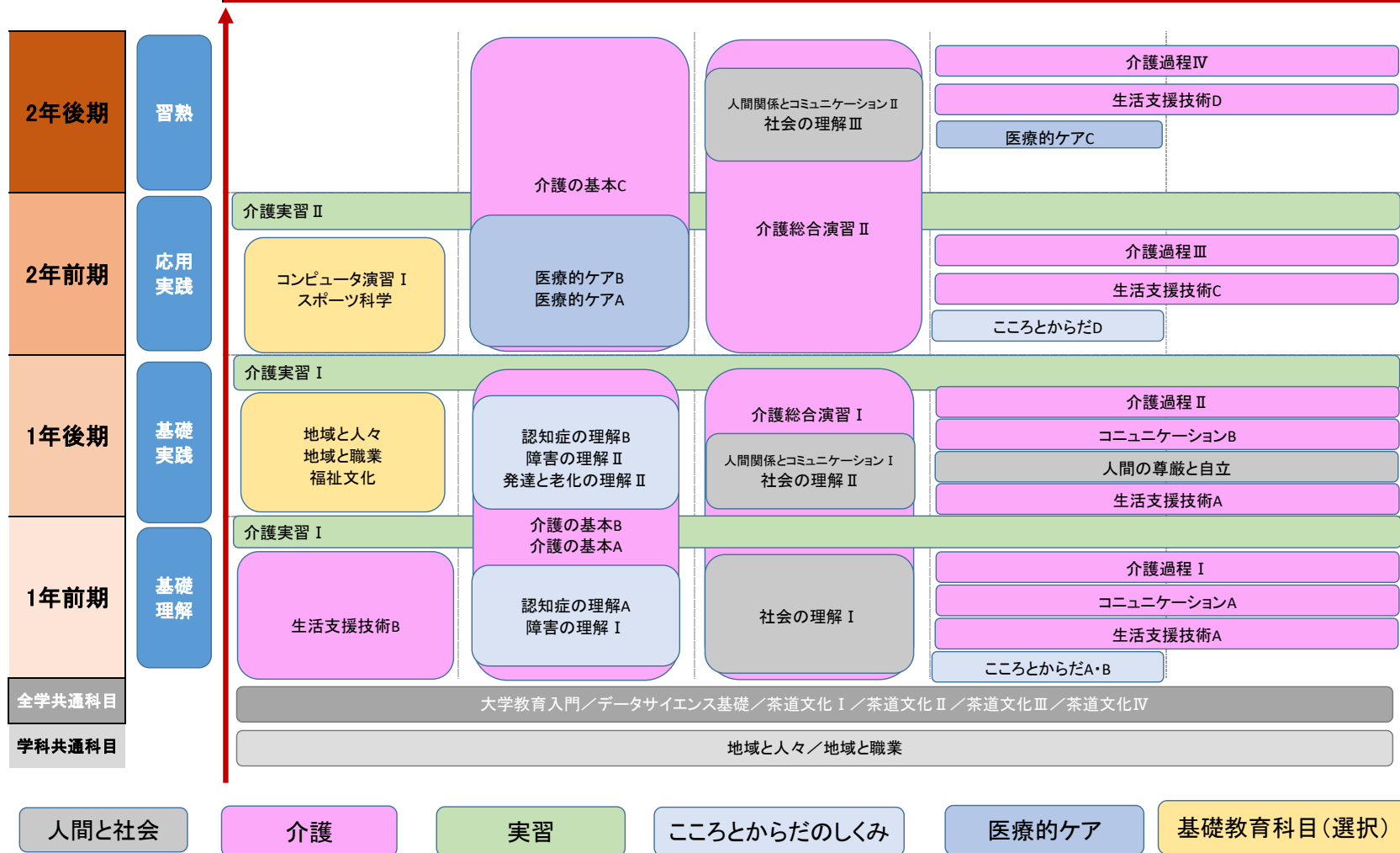
2026年度 地域共生学科介護福祉コース カリキュラム・フローチャート

地域共生学科介護福祉コースのディプロマポリシー

現代社会を生き抜く力 社会人として人間性と品格を備え、 分析的に考える力を身につけている。	確かな専門的知識や技能 介護福祉の専門的な知識と技能を 修得し、体系的な理解ができる。	コミュニケーション能力 介護が必要な人や家族、職場の同 僚や上司、他の専門職および地域 の人とコミュニケーションすることができ	課題解決能力 専門的な知識や技能を用いて課題 を解決し、自立を支える介護を実践 できる。	主体的に学ぶ力 介護福祉士としての使命感をもって、 介護を実践し学び続ける態度を身 につけている。
---	---	--	---	--

カリキュラムポリシー (教育課程編成の方

- 1 人間力を養うため、「茶道文化」、「社会人基礎入門」をはじめとした基礎科目、「人間の尊厳と自立」、「人間関係とコミュニケーション」、「介護の基本」などの専門科目を配置する
- 2 専門的知識と技能を養うため、介護の領域として「介護の基本」、「生活支援技術」など、こころとからだのしくみの領域として「こころとからだのしくみ」、「医療的ケア」など、人間と社会の領域として「社会の理解」など、順次性と系統性を考慮しながら配置する
- 3 コミュニケーション能力を養うため、基礎的な知識の習得を目指して「コミュニケーション技術」を配置する。また、コミュニケーション能力を発揮する機会として「介護実習」を配置する
- 4 課題解決能力を養うため、「介護過程」を配置し、「介護の基本」、「生活支援技術」、「こころとからだのしくみ」といった知識と技能の修得に関する科目と「介護実習」をつなぐ
- 5 主体的に学ぶ力を養うため、実習前後の準備と事例研究の作成を行う「介護総合演習」と59日間の「介護実習」を配置する



2026年度 地域共生学科国際コミュニケーションコース カリキュラム・フローチャート



2026年度 保育学科(2年コース) カリキュラム・フローチャート

保育学科のディプロマポリシー

社会人として人間性と品格を備え、分析的に考える力を身につけている

保育に関する専門的知識・技能を修得し、体系的な理解ができる

保育の対象を理解し、保育にかかわる様々な人々と協働する力を身につけている

保育に関する専門的知識・技能を応用し、様々な課題を解決する保育実践力を身につけている

自己課題を探究し、地域の保育の発展と向上のために学び続ける力を身につけている

カリキュラムポリシー
(教育課程編成の方

1 大学教育の学びの基礎を養うために、基礎教育科目を配置する

2 保育・教育の本質と目的に関する科目を配置する。

3 保育の対象の理解に関する科目を配置する

4 保育の内容・方法に関する科目を配置する

5 保育実践に関する科目を配置する

2年後期
7Q/8Q

学びの
振り返りと
定着

2年前期
5Q/6Q

学びの
実践

1年後期
3Q/4Q

学びの
礎

1年前期
1Q/2Q

全学共通科目

カリキュラムポリシー
(実施の方針)

教育内容・教育方法・学習方法については以下の通り定めます。

(1) 教育内容

児童福祉法施行規則ならびに教育職員免許法施行規則を遵守し、教養科目や保育に関する専門科目を体系的に配列した教育課程の中で、必修科目や選択科目の内容に沿った教育を実施します。

(2) 教育方法・学修方法

学期(セメスター・クォーター)毎に、講義、演習、実習、実技を適切に配置し、実務家教員による授業、反転授業、フィールドワークなどのアクティブラーニング型授業の展開に努めます。また、様々な社会状況の場面に備え、遠隔授業の方法の開拓に努めます。学生の学び(学修成果)の確認と定着を促すために、各種の試験・課題・レポート等による多面的な評価を行い、結果を迅速に学生にフィードバックするよう努めます。

2026年度 保育学科(進学コース) カリキュラム・フローチャート

保育学科のディプロマポリシー				
社会人として人間性と品格を備え、分析的に考える力を身につけている	保育に関する専門的知識・技能を修得し、体系的な理解ができる	保育の対象を理解し、保育にかかわる様々な人々と協働する力を身につけている	保育に関する専門的知識・技能を応用し、様々な課題を解決する保育実践力を身につけている	自己課題を探究し、地域の保育の発展と向上のために学び続ける力を身につけている

カリキュラムポリシー
(教育課程編成の方

1 大学教育の学びの基礎を養うために、基礎教育科目を配置する	2 保育・教育の本質と目的に関する科目を配置する。	3 保育の対象の理解に関する科目を配置する	4 保育の内容・方法に関する科目を配置する	5 保育実践に関する科目を配置する
--------------------------------	---------------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------

2年後期
7Q/8Q

学びの振り返りと定着

保育実践演習(教職実践演習)(幼稚園)				
総合演習Ⅱ				
		総合保育技術Ⅳa／Ⅳb／Ⅳc		
社会的養護Ⅱ				
子どもと表現(造形b)				
保育内容演習Ⅰ(人間関係)	子どもの理解と援助		保育内容演習Ⅱ(マーチングb)	
子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅱb)			保育内容演習Ⅱ(保育教材研究b)	
教育経営論				
スポーツ実習				

2年前期
5Q/6Q

学びの実践

保育実習指導Ⅲ				
保育実習指導Ⅱ				
保育実習Ⅰ（保育所）				
保育実習Ⅱ／保育実習Ⅲ				
教育実習（2期）				
実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）				
子ども家庭支援論				
子どもの心		子ども家庭支援の心理学		保育内容演習Ⅰ（環境）
教育方法論		教育方法論		
乳児保育Ⅱ				
子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱa）		保育相談		総合保育技術Ⅲa／Ⅲb／Ⅲc
保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）		子育て支援		
スポーツ科学	保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）			スポーツ科学
子ども家庭福祉		保育内容演習Ⅰ（言葉）		子ども家庭福祉
保育者論				
総合演習Ⅰ				

1年後期
3Q/4Q

学びの礎

教育実習(1期)／保育実習Ⅰ(施設)			
実習指導(保育実習指導Ⅰ・教育実習指導)			
保育内容演習Ⅰ(健康)			
総合保育技術Ⅰ			
子どもの表現(リズム)			
保育学特別演習			
教育原理			
子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅰb)			
特別支援教育概論			
子どもと表現(造形a)			
子どもの食と栄養		子どもの食と栄養	
乳児保育Ⅰ			
実践国語演習	子どもの健康と安全		
	カリキュラム論		
	保育内容演習Ⅱ(保育教材研究a)		
保育原理			

1年前期
1Q/2Q

実習指導(保育実習指導Ⅰ・教育実習指導)				
日本国憲法	総合保育技術Ⅰ		日本国憲法	
		子どもと言語	コンピューター演習	
	子どもと健康		保育内容演習Ⅱ(マーチングa)	
	子どもの保健			
	子どもと表現(歌唱)			
	社会福祉			
	子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅰa)			
	保育の心理学			
英語Ⅰ	社会的養護Ⅰ			
保育内容総論				
大学教育入門／データサイエンス基礎／茶道文化Ⅰ／ 茶道文化Ⅱ／茶道文化Ⅲ／茶道文化Ⅳ				

全学共通科目

大学教育入門／データサイエンス基礎／茶道文化Ⅰ／
茶道文化Ⅱ／茶道文化Ⅲ／茶道文化Ⅳ

カリキュラムポリシー
(実施の方針)

教育内容・教育方法・学習方法については以下の通り定めます。
(1) 教育内容
児童福祉法施行規則ならびに教育職員免許法施行規則を遵守し、教養科目や保育に関する専門科目を体系的に配列した教育課程の中で、必修科目や選択科目の内容に沿った教育を実施します。
(2) 教育方法・学修方法
学期(セメスター・クォーター)毎に、講義、演習、実習、実技を適切に配置し、実務家教員による授業、反転授業、フィールドワークなどのアクティブラーニング型授業の展開に努めます。また、様々な社会状況の場面に備え、遠隔授業の方法の開拓に努めます。
学生の学び(学修成果)の確認と定着を促すために、各種の試験・課題・レポート等による多面的な評価を行い、結果を迅速に学生にフィードバックするよう努めます。

2026年度 保育学科(3年コース) カリキュラム・フローチャート

保育学科のディプロマポリシー

社会人として人間性と品格を備え、分析的に考える力を身につけている	保育に関する専門的知識・技能を修得し、体系的な理解ができる	保育の対象を理解し、保育にかかわる様々な人々と協働する力を身に付けている	保育に関する専門的知識・技能を応用し、様々な課題を解決する保育実践力を身につけている	自己課題を探究し、地域の保育の発展と向上のために学び続ける力を身につけている
----------------------------------	-------------------------------	--------------------------------------	--	--

カリキュラムポリシー
(教育課程編成の方

- 1 大学教育の学びの基礎を養うために、基礎教育科目を配置する
- 2 保育・教育の本質と目的に関する科目を配置する。
- 3 保育の対象の理解に関する科目を配置する
- 4 保育の内容・方法に関する科目を配置する
- 5 保育実践に関する科目を配置する

3年後期
11Q/12Q

3年前期
9Q/10Q

2年後期
7Q/8Q

2年前期
5Q/6Q

1年後期
3Q/4Q

1年前期
1Q/2Q

全学共通科目

学びの
振り返りと定着

学びの
実践

学びの
礎

保育実践演習(教職実践演習)(幼稚園)

総合演習Ⅱ

保育内容演習Ⅰ(人間関係)

子どもの理解と援助

総合保育技術Ⅳa／Ⅳb／Ⅳc

子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅲb)

子ども家庭支援の心理学

保育内容演習Ⅱ(保育教材研究b)

保育相談

子育て支援

教育経営論

スポーツ実習

保育実習指導Ⅲ

保育実習指導Ⅱ

保育実習Ⅱ／保育実習Ⅲ

保育実習Ⅰ(保育所)

教育実習(2期)

実習指導(保育実習指導Ⅰ・教育実習指導)

教育方法論

教育方法論

社会的養護Ⅱ

スポーツ科学

保育内容演習Ⅰ(表現音楽活動)

スポーツ科学

子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅲa)

保育内容演習Ⅰ(表現造形活動)

総合保育技術Ⅲa／Ⅲb／Ⅲc

乳児保育Ⅱ

保育者論

総合演習Ⅰ

保育実習Ⅰ(施設)

教育実習(1期)

実習指導(保育実習指導Ⅰ・教育実習指導)

乳児保育Ⅰ

ジェンダー論

子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅱa)

ジェンダー論

国際コミュニケーション演習

保育のICT

総合保育技術Ⅰ

保育内容演習Ⅱ(マーチングb)

特別支援教育概論

子どもと表現(造形b)

子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅱb)

保育内容演習Ⅰ(健康)

子どもの食と栄養

子どもの食と栄養

子どもの健康と安全

子ども家庭支援論

子どもの心

保育内容演習Ⅰ(環境)

子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅱa)

総合保育技術Ⅰ

保育内容演習Ⅰ(言葉)

子ども家庭福祉

子ども家庭福祉

子どもと健康

社会的養護Ⅰ

日本国憲法

日本国憲法

子どもと表現(歌唱)

子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅰb)

子どもと表現(造形a)

子どもの表現(リズム)

教育原理

保育内容演習Ⅱ(保育教材研究a)

カリキュラム論

保育原理

子どもの保健

実践国語演習

子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅰa)

子どもと言語

コンピューター演習

保育の心理学

英語Ⅰ

社会福祉

保育内容総論

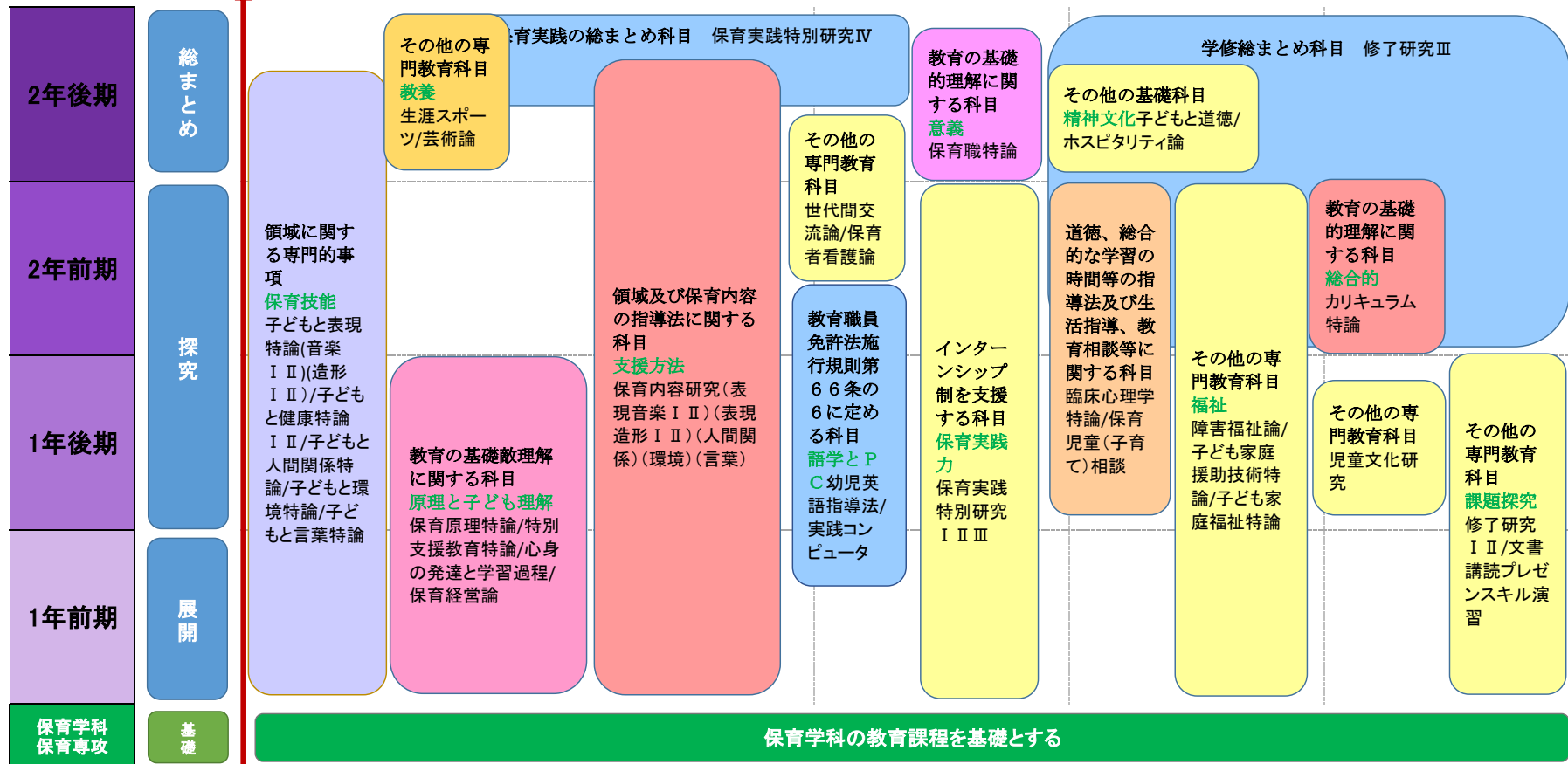
大学教育入門／データサイエンス基礎／茶道文化Ⅰ／
茶道文化Ⅱ／茶道文化Ⅲ／茶道文化Ⅳ

カリキュラムポリシー
(実施の方針)

- 教育内容・教育方法・学習方法については以下の通り定めます。
- (1) 教育内容
児童福祉法施行規則ならびに教育職員免許法施行規則を遵守し、教養科目や保育に関する専門科目を体系的に配列した教育課程の中で、必修科目や選択科目の内容に沿った教育を実施します。
- (2) 教育方法・学修方法
学期(セメスター・クォーター)毎に、講義、演習、実習、実技を適切に配置し、実務家教員による授業、反転授業、フィールドワークなどのアクティブラーニング型授業の展開に努めます。また、様々な社会状況の場面に備え、遠隔授業の方法の開拓に努めます。学生の学び(学修成果)の確認と定着を促すために、各種の試験・課題・レポート等による多元的な評価を行い、結果を迅速に学生にフィードバックするよう努めます。

2026年度 専攻科保育専攻 カリキュラム・フローチャート

専攻科保育専攻の ディプロマポリシー (修了認定・学位授 与の方針)	I 知識・専門技術・理解 豊かで幅広い教養を身に付けている 保育に関する専門的知識・技術を修得し、子どもを取り巻く環境を社会認識によってとらえ正しく理解している	II 汎用的技能 保育の様々な場面で問題を多角的かつ根源的に理解・分析し、解決していく力を身につけている	III 態度・志向性 地域の発展・向上に寄与する使命感を持ち、協働の意識とマナーを身につけ、保育の現場を支えることができる	IV 総合的な学習経験と創造的思考力 体系的な学習と現場での経験を総合的保育力として総合し、保育の様々な課題を探究し続ける思考を持っている
カリキュラムポリシー (教育課程編成の方 針)	1 保育現場において活用する語学とPC操作の科目を配置する。 保育職の意義、保育の基礎理論、幼児の理解および幼児の活動を支援する方法に関する科目を配置する	2 保育実践力を培うための科目を配置する	3 幼児を取り巻く社会状況の認識や精神文化についての科目を配置する	4 課題探究と総合的保育力を向上させるための科目を配置する



カリキュラムポリシー (実施の方針)

教育内容・教育方法・学習方法については以下の通り定めます。

(1) 教育内容

全学共通の教養科目や各学科の専門科目を体系的に配列した教育課程の中で、必修科目や選択科目の内容に沿った教育を実施します。

(2) 教育方法・学修方法

学期(セメスター)毎に、講義、演習を適切に配置し、保育ならびに教育機関等の実地視察、保育インターンシップを支援する授業、実務家教員による授業などを取り入れたアクティブラーニング型授業の展開に努めます。また、様々な社会状況の場面に備え、遠隔授業の方法の開拓に努めます。学生の学び(学修成果)の確認と定着を促すために、各種の試験・課題・レポート等による多面的な評価を行い、結果を迅速に学生にフィードバックする